

いきいき健康かざまうら21推進事業

—むし歯予防教室が開催されました—

ムシバイキン がかかっているのはどこ？

村では、幼児期からむし歯予防に関心を持たせることを目的に、風間浦保育所においてむし歯予防教室を実施しております。今回は来年小学生になる年長児10名を対象に実施しましたので報告いたします。



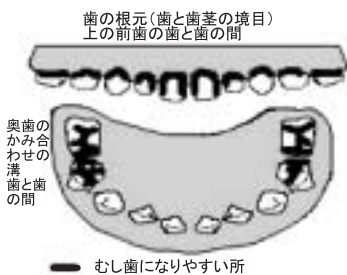
昼食後のハミガキでムシバイキンが取れているか見てもらっているところです。



ハミガキチェックの後、みがき残しのあった所を鏡で見ながら自分で磨いています。みんな一生懸命ですね。みがき残しのあるところはしっかり仕上げみがきしてあげてください。おうちでも時々染め出しして見てあげるのもいいですね。



6歳臼歯の話 一番はじめに生える大人の歯は、6歳ごろ生えるので、「6歳臼歯」と呼ばれています。6歳臼歯は、歯の中で見えているところや根っここの部分が大きく、かみくだく力も一番強いのです。それに、次々と生えてくる大人の歯の並びや顔の形を整えるための基準になる、大切な役目があります。でも6歳臼歯は生え始め、歯ブラシがとどきにくいので虫歯になりやすいのです。大事にしましょうね。



- むし歯になりやすい場所
- 上の前歯の歯と歯の間
- 上の歯の生え際
- 上下左右の奥歯のかみ合わせの溝のところ

ぱんだぐみのみなさん、小学生になってもがんばってね。

